

經濟論叢

第104卷 第3号

哀 辞

故鎌倉 昇教授遺影および原稿

経営戦略について……………	田 杉 競	1
ニュースと「企業性」の接点……………	島 崎 憲 一	23
フィスカル・ポリシーと完全雇用……………	森 岡 孝 二	41

記 事

鎌倉教授逝く

追 悼 講 演 (石川常雄・市村真一・堀江保蔵)

追 憶 談 (杉浦一平・吉田進・西村理・引馬滋)

故鎌倉昇教授略歴・著作目録

昭和44年 9 月

京 都 大 学 經 済 學 會

哀 辞

昭和44年7月7日 本会評議員 京都大学教授 経済学博士 鎌倉昇君 心筋梗塞で軽井沢で惜しくも急逝されました 世寿44歳

あなたは 昭和25年京都大学経済学部を卒業し 昭和43年教授に昇任して金融論講座を担当し 近代経済学の立場から現実の経済に密着し現実の経済を鋭く分析しその方向をさぐりだして 清新な理論をきずきあげ 学界ばかりでなく広く財界啓蒙にも活躍し ますます将来を期待されていました

あなたは 昨年10月以來学生部委員として働き とくに本年1月の本学紛争には粉骨砕身 この激務にあたられ 紛争解決にあたってくれました 学者としてまた教育者としての余りにはげしい活動があなたを 急逝させることになりました

あなたは 京都大学経済学会の評議員として 本学会の運営につくされ 本誌にすぐれた研究をのせられて 本誌にかがやかしい光彩をくわえてくれました

経済学会はかけがえのない若いあなたを失うことになりました 謹んで ここに あなたの遺影をかかげ 心から哀悼の意を表します

昭和44年8月31日

京都大学経済学会